

上田久美子×SPAC 昨年大きな話題となった注目作

この物語、誰が語るべきか？

『ハムレット』



プレス関係各位

この度、SPAC-静岡県舞台芸術センターでは、昨年11-12月「SPAC 秋のシーズン 2025-2026」にて初演した上田久美子演出の『ハムレット』を、来る6-7月静岡芸術劇場にて再演いたします。本作は、原作の言葉や物語が持つ力強さはそのままに、人間中心主義への痛烈なアンチテーゼを可視化する斬新な演出として話題を集めました。

シェイクスピア戯曲の壮大なコスモスに立ち返る——活発な議論を呼んだ脱人間中心主義的アプローチ

王である父を叔父に殺され、母と王位も奪われ猜疑心に囚われたデンマークの王子・ハムレットの復讐劇として知られ、400年以上に渡って世界各地で上演されているシェイクスピアの不朽の名作『ハムレット』。SPAC 初演出で『ハムレット』を手掛けるにあたり、上田はシェイクスピア戯曲が、人間世界のドラマだけではなく、本来は自然も含めた大きな宇宙（コスモス）を描いていることに着目し、物語をハムレットの亡き恋人・オフィーリアや墓掘りなど物語の周縁に追いやられてきた存在の視点から大胆に描き直しました。

悲劇の中で唯一生き残ったホレイシオが語ろうとする「正当な」ハムレットの物語を、死んでバラバラに分解された“オフィーリアたち”が乗っ取り、語り直す劇中劇の構造を取ることで、一見難解に感じるコンセプトを軽やかに観客へ提示します。振付家でダンサーの川村美紀子のムーブメント指導のもと、俳優が『ハムレット』の登場人物と、“オフィーリアたち”=人間以外の生命体を行き来して演じることで、＜人間だけではない＞世界が舞台上に広がります。この上田の試みは、数多くの『ハムレット』を観てきた観客の中でも大きな議論を巻き起こしました。

観劇経験を問わず楽しめる巧妙な仕掛け

このような挑戦をする一方で、大衆性と芸術性の架け橋となり「初めて観る人も楽しめる」ことにこだわる上田は、SPAC が長年実施する中高生鑑賞事業を念頭に、『ハムレット』を知らない人、演劇を初めて観る人でも楽しめる作品に創り上げました。ホレイシオが冒頭で『ハムレット』の一般的なあらすじを結末まで語ることで、とかく難しいと思われがちな古典戯曲特有の心理的ハードルを下げ、またセリフには上田自身によるくだけた現代語やラップを織り交ぜるなど、実験的なアプローチと間口の広さを両立させる工夫が随所に施されています。舞台空間を埋め尽くす巨大なビニールの舞台美術はシンプルな素材ながらも様々に姿を変え、その美しく効果的な使用にも多くの観客が息のみました。

あらすじ

デンマークの宮殿で起きた復讐の悲劇の中、生き残ったホレイシオは、親友ハムレットの「俺のことを語り伝えてくれ」という遺言を遂たすべく今日も人々の前に立つ。しかし、死んだはずのオフィーリアを自称するモノたち(!?)が乱入し、勝手にハムレットを語り始める。「正当な語り部」を自負するホレイシオは、物語を正そうと試みるが…

演出家プロフィール

上田久美子（うへだ・くみこ）

奈良県出身、劇作家・演出家。2006年より宝塚歌劇団演出部に所属、22年に退団。23年、全国共同制作オペラ『道化師・田舎騎士道』（演出）、25年、主催公演『寂しさにまつわる宴会』（脚本／演出）。アートと娯楽の境界を取り払い、多様な人々に同時代の問題を共有できる作品を生み出すことを目指している。

『ハムレット』

潤色・演出：上田久美子 作：ウィリアム・シェイクスピア
翻訳：河合祥一郎（角川文庫『新訳 ハムレット 増補改訂版』）

ムーブメント指導/歌（録音音源）：川村美紀子/音楽（録音音源）：miu/音楽（生演奏）：吉見亮

照明デザイン：大迫浩二/舞台美術デザイン：深沢襟/音響デザイン：澤田百希乃/衣裳デザイン：清千草

出演：

ホレイシオ：本多麻紀

オフィーリア/ハムレット：山崎皓司

オフィーリア/クロードディアス：武石守正

オフィーリア/ガートルード：館野百代

オフィーリア/ポローニアス：牧山祐大

オフィーリア/レアーティーズ：杉山賢

オフィーリア/ギルデンスターン：ながいさやこ

オフィーリア/ヴォルティマンド：吉見亮

オフィーリア/役者・道化：阿部一徳

オフィーリア/役者・道化：貴島豪

オフィーリア：榎原有美

オフィーリア/フォートインブラス：宮城嶋遥加

公演日：6月27日(土)、28日(日)、7月4日(土)、5日(日)
各日 13:30 開演

中高生鑑賞事業：2026年7月1日(水)18:00 開演、2日(木)
13:30 開演

※7月1日（水）18:00 開演の回は一般販売いたします。

会場：静岡芸術劇場（グランシップ内）

チケット取り扱い

◎SPAC チケットセンター

TEL: 054-202-3399

窓口販売：静岡芸術劇場チケットカウンター

（10:00~18:00、休業日6月11日を除く）

ウェブ予約：<https://spac.or.jp/ticket>

チケット料金

一般：4,600 円

SPAC の会個人会員一般：3,900 円

U25・大学生・専門学校生：2,200 円

高校生以下：1,100 円

障がい者割引：3,200 円

鑑賞サポート

SPAC では、より多くの方にご観劇いただけるよう鑑賞サポートの実施を行っております。本作では、下記のサポートがございます。

バリアフリー日本語字幕・英語字幕【無料・要予約】

7月4日(土)、5日(日)

親子室【要予約】全日程

チケット料金：大人1名様につき 3,200 円

座席の必要なお子様1名 1,100 円

座席不要のお子様 無料

関連企画

●アーティストトーク

終演後にトークを開催します。参加無料/予約不要

日時：2026年6月28日(土)、29日(日) 終演後

登壇：上田久美子、石神夏希ほか

※ご参加には当日のチケットが必要です。

そのほか公演前後に参加可能な企画をご用意しております。詳細は SPAC ウェブサイトをご確認ください。